

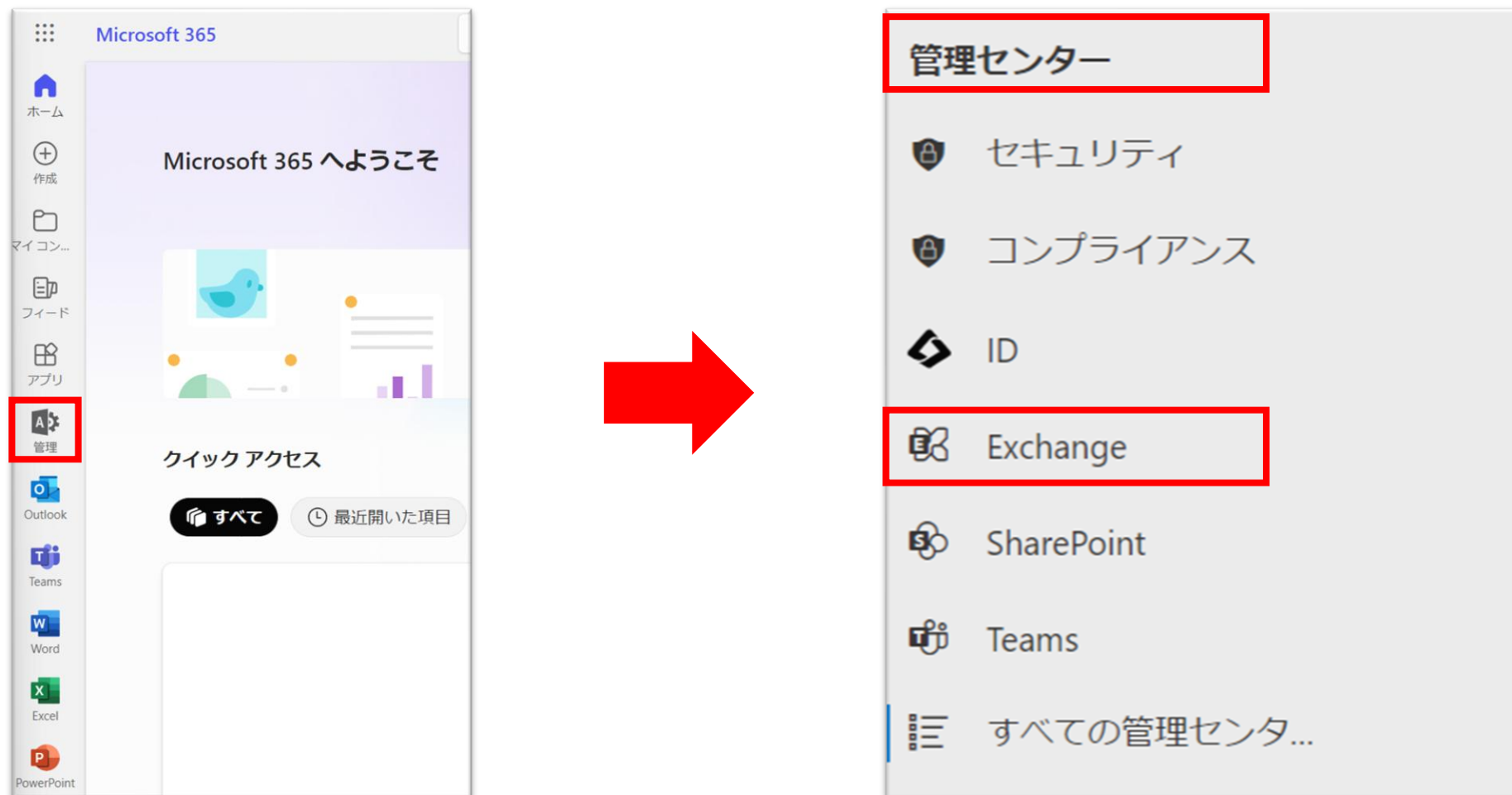
Microsoft 365 連携設定 (送信コネクタの設定・アーカイブあり)

注意事項

- Microsoft 365をご利用のお客様向けに、MailGates、Enterprise Auditとの連携に必要な送信コネクタの設定について説明しています。
Microsoft 365側の設定であり、本設定に伴うMailGates、Enterprise Auditの作業はございません。
- MailGatesの誤送信対策・ZIP暗号化・添付ファイル分離機能と、Enterprise Auditを使用する場合に必要な設定です。
- 本設定を行うことでジャーナルレポート以外のメールがMailGatesを経由するようになります。
- 事前にSPFレコードが登録されていることを確認し、作業を行ってください。

設定方法

- 1.管理者権限を持つアカウントでMicrosoft 365へログインします。
- 2.[管理]-[管理センター]-[Exchange]をクリックします。



設定手順

3.[メールフロー]-[コネクタ]をクリックします。

4. Enterprise Audit用のコネクタを作成します。「+コネクタを追加」をクリックします。



設定手順

5.接続元に「Office 365」、接続先に「パートナー組織」を選択し、「次」をクリックします。

コネクタを追加

● 新しいコネクタ

○ 名前

○ コネクタの使用

○ ルーティング

○ セキュリティの制限

○ 検証メール

○ コネクタを確認する

新しいコネクタ

メール フローのシナリオを指定してください。コネクタを設定する必要があるかどうかをお知らせします。

接続元

☒ Office 365

☐ 組織のメール サーバー

☐ パートナー組織

接続先

☐ 組織のメール サーバー

☒ パートナー組織

設定手順

6.コネクタ名に「Enterprise Audit送信コネクタ」と入力し、
「コネクタの保存後に、何を行いますか？」はオンを選択したまま「次」をクリックします。

コネクタを追加

☒ 新しいコネクタ

☐ 名前

☐ コネクタの使用

☐ ルーティング

☐ セキュリティの制限

☐ 検証メール

☐ コネクタを確認する

コネクタ名

このコネクタは、Office 365 からパートナー組織またはサービス プロバイダーに送信されるメール メッセージに対して、ルーティングとセキュリティの制約を強制します。

名前 *

Enterprise Audit送信コネクタ

説明

コネクタの保存後に、何を行いますか? ⓘ

☒ オンにする

Copyright (C) 2000-2024 CyberSolutions Inc.

6

設定手順

7. 「メールメッセージの送信先がこれらのドメインのときのみ」を選択します。

8. 開通通知書のジャーナルレポート送信先が xxxxxx@cs-365.cybermail.jp の場合、
「+」ボタンから「*.cs-365.cybermail.jp」を追加してください。

開通通知書のジャーナルレポート送信先が xxxxxx@cs-365-02.cybermail.jp の場合、
「+」ボタンから「*.cs-365-02.cybermail.jp」を追加してください。

コネクタを追加

- 新しいコネクタ
- 名前
- コネクタの使用
- ルーティング
- セキュリティの制限
- 検証メール
- コネクタを確認する

コネクタの使用

このコネクタをいつ使用するかを指定します。

☐ メッセージをこのコネクタにリダイレクトするトランスポート ルールが設定されている場合のみ

☒ メール メッセージの送信先がこれらのドメインのときのみ

例: * または *.contoso.com または *.com



*.cs-365.cybermail.jp



コネクタを追加

- 新しいコネクタ
- 名前
- コネクタの使用
- ルーティング
- セキュリティの制限
- 検証メール
- コネクタを確認する

コネクタの使用

このコネクタをいつ使用するかを指定します。

☐ メッセージをこのコネクタにリダイレクトするトランスポート ルールが設定されている場合のみ

☒ メール メッセージの送信先がこれらのドメインのときのみ

例: * または *.contoso.com または *.com



*.cs-365-02.cybermail.jp



設定手順

9. 「パートナーのドメインに関連付けられている MX レコードを使う」を選択し、「次」をクリックします。

コネクタを追加

✓ 新しいコネクタ

✓ 名前

✓ コネクタの使用

● ルーティング

○ セキュリティの制限

○ 検証メール

○ コネクタを確認する

ルーティング

メール メッセージをどのようにルーティングしますか？

Office 365 からのメール メッセージの配信先となるスマート ホストを 1 つ以上指定します。スマートホストとは代替サーバーであり、完全修飾ドメイン名 (FQDN) または IP アドレスで指定します。

☒ パートナーのドメインに関連付けられている MX レコードを使う

☐ これらのスマート ホストを使ってメールをルーティングする

設定手順

10. 「常にトランスポート層セキュリティ (TLS) を使って接続をセキュリティで保護する (推奨)」にチェックを入れ、「信頼された証明機関 (CA) によって発行された」を選択し「次」をクリックします。

コネクタを追加

✓ 新しいコネクタ

✓ 名前

✓ コネクタの使用

✓ ルーティング

● セキュリティの制限

○ 検証メール

○ コネクタを確認する

セキュリティの制限

Office 365 からパートナー組織のメール サーバーへの接続方法を選んでください。

☒ 常にトランスポート層セキュリティ (TLS) を使って接続をセキュリティで保護する (推奨)
受信者のメール サーバーの証明書がこの条件と一致する場合のみ接続します

☐ 任意のデジタル証明書 (これには自己署名証明書も含まれます)

☒ 信頼できる証明機関 (CA) によって発行された

☐ このドメイン名に一致するサブジェクト名またはサブジェクトの別名 (SAN) を追加する:
例: contoso.com または *.contoso.com

設定手順

11. 開通通知書の「ジャーナルレポート送信先」に記載されているメールアドレスを入力し「+」ボタンから追加します。

12. 「検証」をクリックします。

検証メール

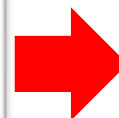
パートナー ドメインにあるアクティブなメールボックスのメール アドレスを指定してください。パートナー組織に複数のドメインがある場合は、複数のアドレスを追加できます。

例: user@contoso.com

xxxxxxxxxxxxxxxx@cs-365.cybermail.jp



検証



検証メール

パートナー ドメインにあるアクティブなメールボックスのメール アドレスを指定してください。パートナー組織に複数のドメインがある場合は、複数のアドレスを追加できます。

例: user@contoso.com

xxxxxxxxxxxxxxxx@cs-365.cybermail.jp



検証

設定手順

13. 設定が正しい場合は「検証が成功しました」と表示されます。

確認後「次」をクリックします。

※既存の送信コネクタが有効になっている場合検証失敗になる恐れがあります。

コネクタを追加

新しいコネクタ

名前

コネクタの使用

ルーティング

セキュリティの制限

検証メール

コネクタを確認する

検証メール

パートナー ドメインにあるアクティブなメールボックスのメール アドレスを指定してください。パートナー組織に複数のドメインがある場合は、複数のアドレスを追加できます。

例: user@contoso.com

xxxxxxxxxx@cs-365.cybermail.jp

検証

✓ 検証が成功しました

> タスク	状態
> Send test email	成功

設定手順

14. 設定内容を確認し、問題がなければ「コネクタを作成」をクリックします。

コネクタを追加

- ✓ 新しいコネクタ
- ✓ 名前
- ✓ コネクタの使用
- ✓ ルーティング
- ✓ セキュリティの制限
- ✓ 検証メール
- コネクタを確認する

コネクタを確認する

メール フローのシナリオ

接続元: Office 365
接続先: パートナー組織

名前

Enterprise Audit送信コネクタ

状態

保存後にオンにする
[名前を編集](#)

コネクタの使用

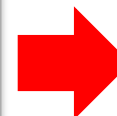
メールの送信先が次のドメインのときにのみ使用する: *.cs-365-02.cybermail.jp
[使用を編集](#)

ルーティング

パートナーのドメインに関連付けられた MX レコードを使います。
[ルーティングを編集](#)

セキュリティの制限

常にトランスポート層セキュリティ (TLS) を使用し、接続するのは受信者のメール サーバー証明書の発行元が信頼できる証明機関 (CA) である場合のみとなります。
[制限を編集](#)



戻る **コネクタを作成**

設定手順

15.MailGates用のコネクタを作成します。「+コネクタを追加」をクリックします。



設定手順

16.接続元に「Office 365」、接続先に「パートナー組織」を選択し、「次」をクリックします。

コネクタを追加

● 新しいコネクタ

○ 名前

○ コネクタの使用

○ ルーティング

○ セキュリティの制限

○ 検証メール

○ コネクタを確認する

新しいコネクタ

メール フローのシナリオを指定してください。コネクタを設定する必要があるかどうかをお知らせします。

接続元

☒ Office 365

☐ 組織のメール サーバー

☐ パートナー組織

接続先

☐ 組織のメール サーバー

☒ パートナー組織

設定手順

17.コネクタ名に「MAILGATESΣ 送信コネクタ」と入力し、
「コネクタの保存後に、何を行いますか？」はオンを選択したまま「次」をクリックします。

コネクタを追加

☒ 新しいコネクタ

☐ 名前

☐ コネクタの使用

☐ ルーティング

☐ セキュリティの制限

☐ 検証メール

☐ コネクタを確認する

コネクタ名

このコネクタは、Office 365 からパートナー組織またはサービス プロバイダーに送信されるメール メッセージに対して、ルーティングとセキュリティの制約を強制します。

名前 *

MAILGATES Σ 送信コネクタ

説明

コネクタの保存後に、何を行いますか? ①

☒ オンにする

設定手順

18. 「メールメッセージの送信先がこれらのドメインのときのみ」を選択します。
19. 「*」（アスタリスク）を入力し「+」ボタンから追加後、「次」をクリックします。

コネクタを追加

✓ 新しいコネクタ

✓ 名前

● コネクタの使用

○ ルーティング

○ セキュリティの制限

○ 検証メール

○ コネクタを確認する

コネクタの使用

このコネクタをいつ使用するかを指定します。

☐ メッセージをこのコネクタにリダイレクトするトランスポート ルールが設定されている場合のみ

☒ メール メッセージの送信先がこれらのドメインのときのみ

例: * または *.contoso.com または *.com

+

*

🗑

設定手順

20. 「これらのスマート ホストを使ってメールをルーティングする」を選択します。

コネクタを追加

✓ 新しいコネクタ

✓ 名前

✓ コネクタの使用

ルーティング

○ セキュリティの制限

○ 検証メール

○ コネクタを確認する

ルーティング

メール メッセージをどのようにルーティングしますか？

Office 365 からのメール メッセージの配信先となるスマート ホストを 1 つ以上指定します。スマートホストとは代替サーバーであり、完全修飾ドメイン名 (FQDN) または IP アドレスで指定します。

☐ パートナーのドメインに関連付けられている MX レコードを使う

☒ これらのスマート ホストを使ってメールをルーティングする

+

設定手順

21. 開通通知書のMXレコードにmgf.cybermail.jpと記載されている場合

「mgf.cybermail.jp」を入力し「+」ボタンから追加後、「次」をクリックします。

開通通知書のMXレコードにmgp.cybermail.jpと記載されている場合は
「mgp.cybermail.jp」を入力し「+」ボタンから追加後、「次」をクリックします。

ルーティング

メール メッセージをどのようにルーティングしますか？

Office 365 からのメール メッセージの配信先となるスマート ホストを 1 つ以上指定します。スマートホストとは代替サーバーであり、完全修飾ドメイン名 (FQDN) または IP アドレスで指定します。

☐ パートナーのドメインに関連付けられている MX レコードを使う

☒ これらのスマート ホストを使ってメールをルーティングする

例: myhost.contoso.com または 192.168.3.2



mgf.cybermail.jp



ルーティング

メール メッセージをどのようにルーティングしますか？

Office 365 からのメール メッセージの配信先となるスマート ホストを 1 つ以上指定します。スマートホストとは代替サーバーであり、完全修飾ドメイン名 (FQDN) または IP アドレスで指定します。

☐ パートナーのドメインに関連付けられている MX レコードを使う

☒ これらのスマート ホストを使ってメールをルーティングする

例: myhost.contoso.com または 192.168.3.2



mgp.cybermail.jp



設定手順

23. 「常にトランスポート層セキュリティ (TLS) を使って接続をセキュリティで保護する (推奨)」にチェックを入れ、「信頼された証明機関 (CA) によって発行された」を選択し「次」をクリックします。

コネクタを追加

✓ 新しいコネクタ

✓ 名前

✓ コネクタの使用

✓ ルーティング

● セキュリティの制限

○ 検証メール

○ コネクタを確認する

セキュリティの制限

Office 365 からパートナー組織のメール サーバーへの接続方法を選んでください。

✓ 常にトランスポート層セキュリティ (TLS) を使って接続をセキュリティで保護する (推奨)
受信者のメール サーバーの証明書がこの条件と一致する場合のみ接続します

☐ 任意のデジタル証明書 (これには自己署名証明書も含まれます)

☒ 信頼できる証明機関 (CA) によって発行された

☐ このドメイン名に一致するサブジェクト名またはサブジェクトの別名 (SAN) を追加する:
例: contoso.com または *.contoso.com

設定手順

24.メールの送受信が可能な外部のメールアドレスを入力し、「+」ボタンから追加します。

25.「検証」をクリックします。

検証メール

パートナー ドメインにあるアクティブなメールボックスのメール アドレスを指定してください。パートナー組織に複数のドメインがある場合は、複数のアドレスを追加できます。

adm@example.com



検証



検証メール

パートナー ドメインにあるアクティブなメールボックスのメール アドレスを指定してください。パートナー組織に複数のドメインがある場合は、複数のアドレスを追加できます。

例: user@contoso.com



adm@example.com



検証

設定手順

26. 設定が正しい場合は「検証が成功しました」と表示されます。

確認後「次」をクリックします。

※既存の送信コネクタが有効になっている場合検証失敗になる恐れがあります。

検証メール

パートナー ドメインにあるアクティブなメールボックスのメール アドレスを指定してください。パートナー組織に複数のドメインがある場合は、複数のアドレスを追加できます。

+

🗑️

検証

✅ 検証が成功しました

> タスク	状態
> Check connectivity to 'mcp.cybermail.jp'	成功
> Send test email	成功

設定手順

27. 設定内容を確認し、問題がなければ「コネクタを作成」をクリックします。

コネクタを追加

✓ 新しいコネクタ

✓ 名前

✓ コネクタの使用

✓ ルーティング

✓ セキュリティの制限

✓ 検証メール

● コネクタを確認する

コネクタを確認する

メール フローのシナリオ

接続元: Office 365
接続先: パートナー組織

名前

MAILGATES Σ 送信コネクタ

状態

保存後にオンにする
[名前を編集](#)

コネクタの使用

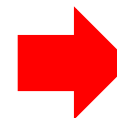
メールの送信先が次のドメインのときにのみ使用する: *
[使用を編集](#)

ルーティング

次のスマート ホストを経由してメール メッセージをルーティングします: mgp.cybermail.jp
[ルーティングを編集](#)

セキュリティの制限

常にトランスポート層セキュリティ (TLS) を使用し、接続するのは受信者のメール サーバー証明書の発行元が信頼できる証明機関 (CA) である場合のみとなります。
[制限を編集](#)



戻る

コネクタを作成